

介護予防・生活支援サービス事業アンケート(通所型) 集計

回収率 30件(回収件数)÷34件(対象件数)=88.2%

問1 現在、どのサービスを実施していますか？

1-1介護予防訪問サービス	1
1-2生活支援訪問サービス	1
1-3介護予防通所サービス	27
1-4生活支援通所サービス(機能訓練型)	8
1-5生活支援通所サービス(ミニデイ型)	1

問2 事業所ごとの訪問サービスの登録者人数(H30年7月末時点)

種別 人数	介護予防通所サービス			生活支援通所 (機能訓練型)			生活支援通所 (ミニデイ型)		
	総合事業	要支援1	要支援2	総合事業	要支援1	要支援2	総合事業	要支援1	要支援2
1～5人	8	13	11	6	5	5	0	0	0
6～10人	4	7	9	1	1	0	0	0	0
11～15人	0	3	2	0	0	0	0	0	0
16～20人	1	1	1	0	0	0	0	0	0
21人～	2	1	2	0	0	0	0	0	0

※表内の数字は事業所数

問3 身体介護が含まれている登録者人数(問2の人数のうち)

種別 人数	総合事業	要支援1	要支援2
1～5人	6	15	14
6～10人	3	7	8
11～15人	1	1	1
16～20人	1	0	0
21人～	1	0	0

※表内の数字は事業所数

問4 介護予防通所サービスを実施している事業所にお尋ねします。介護予防通所サービスを実施してどう思いましたか？

4-1良かった	4
4-2普通	23
4-3良くなかった	1

問5 問4回答者にお尋ねします。なぜそう思いましたか？

5-1移行による影響がほとんどなかったため	20
5-2移行による影響で現在も混乱が続いているため	2
5-3利用者負担が減り、利用者の満足度が上がったため	0
5-4利用料の算定方法が変わり事務が煩雑になったため	4
5-5介護報酬が減額となり、収入が減ったため	4
5-6その他	4

問6 介護予防通所サービスを実施している事業所にお尋ねします。来年度以降も引き続き介護予防通所サービスを提供する意向はありますか？

6-1ある	24
6-2ない	0
6-3検討中	5

問7 問6で「ない」「検討中」と回答した事業所にお尋ねします。その理由は何ですか？

7-1利用者がいないため	0
7-2従業員の確保が難しいため	1
7-3現在の報酬では採算が取れないため	3
7-4その他	1

問8 生活支援通所サービスの指定を受けていない事業所にお尋ねします。現在、生活支援通所サービスの指定を受けていない理由は何ですか？

8-1現在の利用者に生活支援通所サービスに該当する利用者がいないため	4
8-2生活支援通所サービスに従事する人材の確保が困難であるため	10
8-3報酬が低く、採算が取れないため	3
8-4一体的にサービスを提供することで既存の利用者に影響が出ると考えるため	4
8-5現在、定員を満たす利用者がおり設備・人員基準上、生活支援通所サービスの提供は難しいため	6
8-6サービスの内容や指定基準がよく分からないため	0
8-7利用者のニーズがあるのかどうか分からないため	3
8-8現在のサービス提供方針に生活支援通所サービスの内容が合致していないため	2
8-9その他	0

問9 生活支援通所サービスを実施していない事業所にお尋ねします。今後、生活支援通所サービスの指定を受ける意向はありますか？

9-1ある	0
9-2ない	13
9-3検討中	5

問10 問9で「ない」「検討中」と回答した事業所にお尋ねします。その理由は何ですか？

10-1現在のサービス提供方針に内容が合致していないため	5
10-2従業員の確保が難しいため	10
10-3スペースの確保が難しいため	10
10-4利用者の新規確保が難しいため	1
10-5その他	1
その他： ・事業運営が煩雑になるため。	

問11 生活支援通所サービスを実施している事業所にお尋ねします。生活支援通所サービスを実施してどう思いましたか？

11-1良かった	1
11-2普通	7
11-3良くなかった	1

問12 問11回答者にお尋ねします。なぜそう思いましたか？

12-1利用者負担が介護予防通所サービスに比べて小さく、利用者の満足度が高いため	0
12-2既存の利用者が生活支援通所サービスに移行したことで、より手間のかかる利用者に人員がさけるようになったため。	0
12-3幅広い方に利用してもらえるようになったため	3
12-4スペースの有効活用ができるため	0
12-5利用者の意識が変わらず、結果的に介護予防通所サービス利用者と手間が変わっていないため	4
12-6利用者がいないため	1
12-7その他	2
その他： ・介護予防通所サービス利用者とサービスの差がつけにくい。 ・予防とのサービスの差別化ができていない。	

問13 生活支援通所サービスを実施している事業所にお尋ねします。来年度以降も引き続き生活支援通所サービスを提供する意向はありますか？

13-1ある	6
13-2ない	0
13-3検討中	2

問14 問13で「ない」「検討中」と回答した事業所にお聞きます。その理由は何ですか？

14-1利用者がいないため	0
14-2従業員の確保が難しいため	1
14-3現在の報酬では採算が取れないため	2
14-4その他	0

問15 生活支援通所サービスを実施している事業所にお尋ねします。今後、生活支援通所サービスの供給量を確保していくにあたり、特に必要と考える支援等は何ですか？

15-1市民へのサービス内容の周知	4
15-2市主催による事業所向けの定期的な勉強会の開催	3
15-3適正な報酬の設定	8
15-4介護予防サービス計画作成者(ケアマネ等)の制度理解の徹底	2
15-5市からの明確な需要量(目標値)の提示	1
15-6個別援助計画、モニタリングにおける事務処理等の簡素化	6
15-7その他	1
その他： ・介護予防通所サービス利用者と生活支援通所サービス利用者の適切な選別のための基準設定。	

問16 その他、介護予防・生活支援サービス事業に関するご意見等。

・介護予防通所サービス利用者の基準として、身体介護の有無よりも専門職による関わりが必要かどうかを基準にするべき。介護予防通所サービスと比べて生活支援通所サービスは加算等を含めると介護報酬が半分になるため、介護報酬を引き上げるか、サービス基準を半分になるように緩和するかをしないと事業所の運営が難しくなる可能性が高い。

・他事業所の取り組み例、行政が考える取り組み例など知りたい。予防通所サービスと生活支援サービスが混在しているので、人員確保に苦労している。

・記録の処理を簡素化できるともう少し余裕が持てる。AI等を利用する場合にどんなことまで機会に頼っていいのか、電子での記録保管も検討中。

・予防と生活支援で分けていてもサービスの差が明確でない。予防と生活支援の申請で書類が増えて手間が増えている。